

所属・資格 総合文化研究室・教授

申請者氏名 藤平 敦

研究課題		教職課程における学生のキャリア形成に関する研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	本研究の目的は、「教師としての使命感」、「生徒への愛情」など、教職志望者の学生のキャリア形成を適切に育むうえで望ましい教職課程の在り方を探求することである。 令和6年度の研究概要としては、教職課程における学生のキャリア形成に向けて、自己有用感との関係性を明確にすることである。
	研究の結果	学生の教員免許状取得に向けた意欲の変化について、教員免許状の取得を希望しているすべての学生に任意で追跡調査を実施しているが、その結果を分析したところ、自己有用感が高いほど、教員免許状取得に関しての不安は低くなる傾向にあることがわかった。 そのためには、教職課程の授業の在り方について、学生同士の関わりを増やす工夫が必要である。
	研究の考察・反省	今回の研究では、追跡調査の結果を踏まえて行えたことは、複数学年の比較も含めて、客観的なデータを踏まえたものであることから、大変意義深いものであると考える。 研究結果から、教職課程の授業の在り方についての検討が必要である。そのため、教職コースの入門科目である1年次の授業（「教育方法とICT活用論」等）から、一人一人の学生の自己有用感を育むことも視野に入れた授業実践が大切であるという課題が明確になった。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教員免許状取得希望学生への支援を目的とした追跡調査の中間報告④ －教員免許状取得支援を目的とした教職課程学生の基礎調査－」 日本教師教育学会第34回大会 自由研究発表（第15分科会） 令和6年9月21日（土）（於島根大学松江キャンパス） ・「輝け！ 私立大学の教職課程」協同出版 令和7年2月17日刊行 分担執筆 藤平 敦 第2章、第3章の2「開放性大学での教員養成における教職IRの必要性」 	